

# 令和6年度愛媛県社会教育主事等研修会 アンケート結果

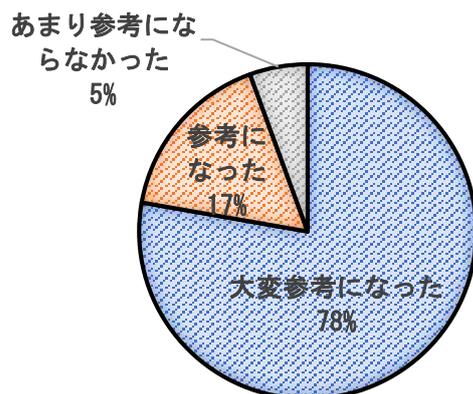
(アンケート回答者 54名)

## 1 参加者の所属内訳(参加者 61名)

所 属	人数 (人)
県・県教育委員会職員	29
市町教育委員会生涯学習・社会教育関係職員	13
社会教育施設等関係職員	5
公民館関係職員	4
学校教職員	3
学生	2
地域コーディネーター	1
社会教育関係関係者	1
その他 (少年補導委員協議会、民生児童委員協議会、一般社団法人)	3



## 2 講義・ワークショップについて



### ☆ 参加者からの声 ☆

- 講師の雰囲気も等話的で好印象だった。職場や学校教育等にも取り入れると有効だと感じた。
- 本日のワークショップを持ち帰り、実践してみたい。様々な方とざっくばらんに話すことができ楽しかった。講師の講演含め、大変有意義な研修会だった。今後も定期的に参加したい。
- 等話を意識した会話は、大変心地よかった。とても満足度が高い。
- 初対面だからこそ言えること、新しい考えを知ることができた。



○ワークショップの仕方やA3用紙を使い、壁に貼り出して参加者の意見を可視化する方法が大変参考になった。

○「話すこと」の大切さを改めて感じた。たくさんさんの学びがあった。

○自分のまちの地域づくりにおいても「等話」を取り入れてみたいと思った。

○松田氏や他の参加者の方から元気とパワーをいただき、明日からの活力になった。

○普段会えない他の地区の方々との交流はありがたく楽しみである。「等話」の大切さを学んだので、今後に生かしていきたい。

○時間があっという間だった。各市町の課題や現状を知ることができ、参考になった。初めて参加したが、地域のことを考えて活動している方とつながることができて、とてもよかった。

○話す人、話さない人の偏りがあるので、各グループにバランサーを配置するなど、グループワークの方法をさらに応用することができると感じた。

○講師の人柄に起因するものと思われるが、一方通行（聞くだけ）ではなかったのがよかった。

○等話を実際に体験すると、体の中からエネルギーが出てくる感覚があり、効果的かつ手軽にできるものだった。

○対話する場面をどのように活用すれば効果的か考えるきっかけになった。

○「等話」という言葉を初めて聞いたが、大切な考えであり、これからどんどん取り入れたいと思った。大きい用紙に書く方法もよかった。立ち話からつながりづくりもでき、今後の事業に取り入れていきたい。

○あっという間に時間が過ぎていった。他の仕事をされている方と意見交換ができてよかった。多種多様な方々の意見を聞かせることができ、今後の生き方の参考になった。

○違いを違いのままにすることが、共有点を見付ける、しいては他者とのつながりをつくる方法の一つではないかと実感した。

○問い掛けるといのはとても大切なことだと思った。

○年齢や役職、その他様々な立場の参加者がいるので、今まで受けてきたワークショップでは、忖度や遠慮などしてしまうことがあり、本音を話すことが少なかった。しかし本日の講義、ワークショップは大前提に等話があり、本音を語ることができた。立場が違うからこそ様々な意見が出て非常に楽しい時間となった。

○松田氏の穏やかで等しく語りかけるような雰囲気により、グループワークで安心して話すことができた。他の自治体の社会教育主事等と忌憚のない意見交換ができ、大変参考になり、また日々の業務への意欲を高めることができた。

○多様な職種、年代の方と意見交換ができてよかった。フラットな立場で話し合いをすることで、いろいろな「気づき」を得ることができた。



○実際に等話を体験して得た学びは、今後の事業に活かすことができると思う。自分と相手、話すと聞くが平等になった「等話」、とても心地よかった。

○社会生活において「会話の平等性＝等話」の重要性を再認識した。本日の講義では、理論と実践を組み合わせつつ、等身大の語り口で話していただき、実感を伴った理解を得ることができた。また、ワークショップでは、様々な立場の方にお会いでき、貴重な経験を得ることができた。



○等話の心地よさは、癖になりそうだ。自分でもこの様な場をつくりたいと思う。とても得るものが多い時間だった。様々な考え方に触れることができたので、仕事に活かしていきたい。

○講師の語り口もとても参考になった。話してみると予想外のつながりや縁があって、まずは言葉にしてみることの大切さを痛感した。

○SNSの重要性について改めて感じさせられた。学校との連携のアイデアもいただいたので、実践してみようと思う。

○いろいろな地域や立場の方の意見を聞くことができ、とても楽しく等話できた。グループでの話合いを重視したワークショップで、人との交流を深めることができた。

○「等話」の説明を聞き、ワークショップをしたので、分かりやすかった。平等に話すという視点がすばらしかった。グループ内でもそのことを意識して活動できた。

○話すことの大切さを思い出した。自分の課題に対し、具体的な成果が得られた。

○年齢など関係なく平等に話ができて楽しく参加できた。「等話」という言葉を初めて聞いたが、平等の精神、社会や教育現場など全てにおいて通じることだと思った。

○自由度の高いワークショップで、初めは少し戸惑ったが、紙に書くことで少しずつ整理でき、話し合った内容が明確になっていった。少人数でのグループワークで、とても話しやすかった。付箋ではなく、大きい用紙を使う手法は、今後使いたい。

○すごく充実したグループワークだった。社会教育・生涯学習についてさらに話を聞きたいと思った。

### 3 今後取り上げてほしい内容・テーマ・その他

○研修会の成果を広く周知して、多くの関係者に集まってもらいたい。

○地域コミュニティの取組について話を聞いてみたい。

○ワークショップは難しい。話し合う（対等）ことの重要性は分かったので、やはりファシリテーターの育成が大事。ファシリテーターの手法を学びたい。

